

広島 JRAT との協定締結に係る健康福祉局長への表敬訪問について

このことについて、次のとおり実施します。

1 日時

令和 7 年 10 月 31 日（金）14 時 00 分～14 時 30 分

2 場所

県庁北館第二会議室
（北館改修工事により北館 1 階へ移転中）

3 参加者

○JRAT 関係者等

氏名	役職	所属
広島 JRAT		
三上 幸夫	広島 JRAT 代表	広島大学病院
天野 純子	広島 JRAT 代表補佐	アマノ病院
杉村 暁生	広島 JRAT 副代表	広島県言語聴覚士会
高木 節	広島 JRAT 副代表	広島県作業療法士会
高橋 真	広島 JRAT 副代表	広島県理学療法士会
兼永 幸太郎	広島 JRAT 理事	広島大学医系科学研究科
平田 和彦	広島 JRAT 事務局長	広島大学病院
對東 俊介	広島 JRAT 事務局	広島大学病院
廣田 智弘	広島 JRAT 事務局	広島大学病院
後藤 直哉	広島 JRAT 事務局	広島大学病院
大上 亜由美	広島 JRAT 会計	広島大学病院
広島 JRAT 以外		
栗原 正紀	代表	一般社団法人日本災害リハビリテーション支援協会（JRAT）
松岡 見咲	高齢者リハビリテーション推進官	厚生労働省老健局老人保健課
岡部 千鶴	広島県議会議員	
上田 貴代	医師	因島医師会病院

○広島県側

健康福祉局長、医療介護基盤課（課長、担当者）、その他関係課職員

4 協定締結の経緯等

大規模災害の際、被災者（特に高齢者）の生活機能低下や災害関連死が社会問題となっている中、これらの問題に対応するため、東日本大震災以降、「災害関連死ゼロ」を目標に、リハビリテーションに関連する 14 団体が「日本災害リハビリテーション支援協会」（JRAT）を結成している。併せて、その JRAT の下部組織として、各都道府県に地域 JRAT が結成され、支援・受援の体制を構築している。

その中で、広島 JRAT は 2017 年より発足し、熊本地震、西日本豪雨災害、能登半島地震で活動を行ってきた。しかしながら、広島県の防災計画において広島 JRAT の位置づけはこれまで明確にされておらず、大規模災害に備えた災害リハビリテーション支援体制の整備が課題となっていた。

そういった状況を踏まえ、災害時のリハビリテーション支援活動をより迅速かつ円滑に行うため、2025 年 3 月 27 日に広島県と広島 JRAT が災害時の医療救護活動に関する協定を締結した。

今後は、南海トラフ地震など大規模災害に備えて、広島 JRAT 隊員の増加、訓練の実施、他の災害医療チームとの連携、県民への広報活動（地域での防災訓練への参加など）を行うなど、広島県の災害リハビリテーション支援体制の強化を図っていくこととしている。